

核データ研究会準備小委員会会合議事録

1. 日 時 昭和 61 年 3 月 3 日 13:30 ~ 17:00
2. 場 所 原研東海研究 1 棟第 1 討論室
3. 出席者 中嶋, 中沢, 喜多尾, 吉田, 石黒, 河原崎, 浅見, 中川, 五十嵐

4. 配布資料

過去の研究会プログラム集

5. 議 事

研究会のテーマ, 日程, 準備委員候補, ポスターセッションなどについて検討を行った。

I. 研究会のテーマ

柱とするテーマについて以下の意見が出た。

- (i) 核データの利用面に重点をおく。……中国人の出席を考慮
- (ii) JENDL - 3 の進行状況と JENDL - 3 以後の問題
- (iii) 炉定数専門部会の感度解析の成果……遮蔽, 核融合炉用炉定数
- (iv) 炉定数作成における問題点……評価へのフィードバック
- (v) 核構造・崩壊データ……評価者と利用者との間にある問題
- (vi) 医学用及び理研の RI 製造用荷電粒子データ
- (vii) 世界の加速器計画
- (viii) 核燃サイクル関係……ORIGEN 関係のデータ, α -線源, threshold reaction data など。

これらを以下のようにまとめた。

1. JENDL - 3 以後の問題
 - (1)核燃料サイクル: α -線源, threshold reaction data.
 - (2)特殊目的核データファイル
 - (3)核データ利用上の問題
2. 炉定数の感度解析
 - (1)遮蔽定数の感度解析

- (2)核融合炉定数の感度解析
- (3)高速炉及び高転換炉の感度解析

3. その他

- (1)核構造・崩壊データ
- (2)医学用及び荷電粒子データ，加速器

II. ポスターセッション

炉定数ファイルやテーマの一般募集などの意見が出たが準備委員会に一任することにした。

III. 日 程

研究会は11月11日～13日を予定する。外国へのアナウンスを早く出すが準備スケジュールは準備委員会で決める。出席者への旅費支給，宿舎斡旋については従来の方法を改める。

IV. 準備委員会委員候補

準備委員として次の各氏が候補にあがった。

- 高野 秀機 (原 研)
- 吉田 正 (NAIG) …… (後日辞退を申し出た)
- 喜多尾憲助 (放医研)
- 中沢 正治 (東 大)
- 河原崎雄紀 (原 研)
- 松延 広幸 (住友原 I)
- 長谷川 明 (原 研)
- 佐々木 誠 (MAPI)

相談役として中嶋龍三(法大)，飯島俊吾(NAIG)の両氏が当る。

核データセンターからは浅見哲夫，中川庸雄の両氏と委員長として五十嵐が加わる。
委員長不在の場合は中嶋氏が代行する。

準備委員会は3月14日の運営委員会の承認を得て4月7日(月)に東海研で開く。その際に講師候補をあげる。

V. その他

- (1) 使用語について討論：外国人出席者数に依って日本語か英語かに分れる。外国の返事を4月末までにもらう必要がある。
- (2) 一般セッションと国内セッションを作り，前者を英語で後者を日本語で行うことも考えられる。

- (3) 今後の方針としても外国人の出席者数が増える方向にあるのかどうか。使用語はそれにも依存する。
- (4) 今回はプログラムについて外国の反応も聞いてみる。